平成28年洞爺湖町教育委員会第1回定例会会議録

日 時	平成28年1月26日(火) 13:30より
場 所	役場第1委員会室
出席委員	委員 岩原 義美 委員 吉田 聡 委員 増山 和世 委員 来栖 由喜 教育長 綱嶋 勉
欠席委員	
説明員	管理課長 天野 英樹 社会教育課長 永井 宗雄
会議録調整者	管理課主幹 佐藤 融
傍聴者	無し
日程第1	
【開会宣言】	岩原委員長 開会を宣言する。(13:30)
日程第2	
【前回会議録の承認】	岩原委員長 各教育委員の署名により、承認を確認。
日程第3	
【教育長諸般の報告】	綱嶋教育長 12/25 町教育支援委員会(防災研修ホール) 12/28~29 子ども朝活事業、地域未来塾事業(洞爺総合センター) 12/30 仕事納め 1/6 仕事始め 1/10 成人式(防災研修ホール) 1/12 管内教育長会議等(むろらん広域センター) 1/14 教職員の服務規律に関する出前講座(防災研修ホール) 1/15 町議会1月会議(議場) 1/25 定例校長会(役場) 1/26 教育委員会第1回定例会(委員会室)

日程第4

【報告事項】

・報告第1号

岩原委員長

只今の教育長の諸般の報告につきまして、何かご質問、ご意見等ありませんか。

≪「ありません」という人あり≫

諸般の報告を終わります。

岩原委員長

日程第4、報告事項、報告第1号管理課所管の各種事務事業の取組状況について、よろしくお願ひします。

なお、2番、3番につきましては、洞爺湖町教育委員会議規則第20条第1項第6号の規定により、非公開とさせていただきます。

天野課長

2ページになります。報告第1号管理課所管の各種事務事業の取組状況についてです。まず、1点目ですが、洞爺中学校の匿名の寄附について、新聞、テレビ等で既にご承知かと思ひますが、昨年12月31日に現金百万円と手紙が入った封筒が洞爺中学校の郵便受けの中に入っていたのを休み中に見回りをしていた教頭先生が見つけて、連絡をいただいたという状況でした。手紙には、「体育館を時々使わせていただいている者です。年々、暗幕などの傷みが目に余るようになってきており、残念に思っております。そこで、心ばかりですが、同封したお金で、是非、修繕し卒業式や学校祭など、気持ちよく行ってほしいと願っております。」などと書かれており、贈り主は、当町のマスコットキャラクター「洞龍くん」となっていました。百万円の取り扱いについては、今後、贈り主の意思に添った形で使わせていただきます。新年度予算になると思ひますが、そのような形で使わせていただきたいというところで、現在、考えているところです。1点目は以上です。

----- 非 公 開 -----

≪報告第1号、2 平成27年度全国学力・学習調査の結果概要、3 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要の報告について了承≫

----- 非公開終了 -----

・報告第2号

岩原委員長

続きまして、報告第2号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、よろしくお願ひします。

永井課長

ページは3ページになります。報告第2号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、報告をいたします。

まず1点目ですが、洞爺湖町成人式について、平成28年1月10日に洞爺湖町役場防災研修ホールを会場に開催しております。新成人該当者90名のうち、町内外から69名が出席して行われました。式典につきましては、新成人を代表して室田雄飛さん、木村弓さんが20歳の誓いの言葉を述べら

れました。式典の後の祝賀会につきましては、地元特産品などが当たる抽選会も行われるなど、晴れやかな新成人の門出をお祝いするつどいとなりました。

2点目ですが、子ども朝活事業の実施について、12月28日、29日の両日、洞爺総合センターを会場に小学生を対象とした「子ども朝活事業・地域未来塾事業」を開催いたしました。この事業は子どもの生活リズムが乱れがちな学校の長期休み中に生活習慣の定着を図ることを目的に学習や運動、体験活動を取り入れて行っているもので、今年度は7月の夏休みプログラムに続いて今回が2回目となります。会場では、学習習慣の確立と基礎学力を身に着ける取組として学習の時間と、多くの人との関わりからコミュニケーション能力を養う取組としてドイツゲームを活用したプログラムを実施し、2日間で延べ83名の児童の参加をいただきました。各種プログラムの運用におきましては、地域や学校など関係する多くの皆様にご協力を賜りまして心より感謝いたします。なお、1月30日土曜日ですが、中学生を対象とする学習支援事業の「地域未来塾」を開催いたします。1月30日午前9時から会場は洞爺総合センターで行います。現在、参加の申し込みは17名ですが、お時間がありましたら委員の皆様にも会場に足を運んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

3点目につきましては、読書感想画・読書紹介文募集事業の実施について、秋の読書週間に合わせて、洞爺湖ロータリークラブと町教委が連携し、小中学生を対象に読書感想画・読書紹介文募集事業を実施しました。この事業は読書に親しむ機会づくりと習慣付を目的として行われたもので、応募された作品は、それぞれに読んだ本の中で最も印象に残った場面を絵に描いたもの、また、読み終えて他の人にも薦めたい本の内容を伝える紹介文など個性溢れる秀作が多く寄せられました。1月27日、小中学校に出向きまして、入選者の表彰伝達式を行います。作品につきましては、読書の家で作品展示、あるいは、広報で紹介していきたいと思っております。

4点目につきましては、縄文遺跡群世界文化遺産登録への取組状況について、洞爺湖町の史跡入江・高砂貝塚をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道及び北東北4道県、14市町とともに世界文化遺産登録を目指しているところですが、平成27年12月26日に開催された縄文遺跡群世界遺産登録推進本部会議において、18ある構成資産のうち、森町の鷲ノ木遺跡、青森県八戸市の長七谷地貝塚を隣接する地域の景観や保全などの観点から、いったん除外することに決定いたしました。北海道の森町の鷲ノ木遺跡につきましては、遺跡の直下に高速道路のトンネルがあるために、景観が損なわれて、縄文の雰囲気十分に体感できないことが問題視されておりました。この鷲ノ木遺跡につきましては、発見からまだ10年しか経過していない部分もあります。また、発掘調査が完全に終わっていませんので、遺跡の周辺にあると思われる集落等が発見されれば、更に価値が高まって、また候補に戻る可能性も含まれています。青森県八戸市の長七谷地貝塚につ

きましては、貝塚の三方を工業地帯に囲まれておりまして、保全に必要な緩衝地帯の確認ができないということが問題視されておりました。今後は、直近の機会である平成28年度のユネスコへの推薦と平成30年度の世界遺産登録実現に向けて関係自治体と連携して取り組んでまいります。以上です。

岩原委員長

只今、報告がありました。何かご質問、ご意見等ありませんか。

今年の成人式なのですが、非常に大人しいというか、規律が守られて、爽やかな感じを受けました。ただ、残念だったのは、景品を渡す時にしおりにナンバーがふられていて、抽選でその人に出て来てもらうのですが、いるはずなのに出来来ない人が多く見られたので、そこが残念だったなど。それなりに和気あいあいで、とてもいい成人式だったと思います。

吉田委員

出席率というのは、毎年これくらいの出席率なのですか。

永井課長

年によって、多かったです。

綱嶋教育長

大学に行っている方は、もう、大学が始まっているので、今の日程では参加できない。その代り、それ以外の住民登録がなく、就職されている方も一部参加されている。

岩原委員長

保護者が年々、少しずつ多く会場に入っていたけりようになったのかなという感じはします。

綱嶋教育長

送迎する保護者もいるみたいで、昔は考えられなかったのですが、10人くらいは待っている。

来栖委員

伊達はカルチャーセンターで行い、下で成人者がいて、2階席に保護者いるという感じです。

綱嶋教育長

送迎だけではなく、晴れ姿を見に来る方も増えているようです。

あと、同級生同士の集まる機会として参加しているのかなと。行政側がゲーム、景品を用意しても参加しない。今年、顕著だったと思います。10人以上は、番号呼ばれても出来来ない。また、最初に集合写真を撮るのですが、「いいです。」と断る人もいます。成人式として地域の皆さんも含めて、お祝いするところに参加するというよりは、友達に会える機会なのかなと。

岩原委員長

成人者の求めるものが少しずつ変わってきているのかなという風に感じております。

綱嶋教育長

本当は、先輩、当事者が準備して行うのが一番いいのですが、それが

出来なくなってきた。投げかけても、まとまらないというので、今の形になってしまった。

岩原委員長

新成人者の動向をみながら、少しずつ内容等を変えていかなければならないのかなど。

他にありませんか。

≪「ありません」という人あり≫

報告第2号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況についてを終わります。

報告第3号、平成28年度当初予算要望概要について、よろしくお願ひします。

なお、洞爺湖町教育委員会議規則第20条第1項第6号の規定により、非公開とさせていただきます。

----- 非 公 開 -----

≪報告第3号 平成28年度当初予算要望概要について了承≫

----- 非公開終了 -----

・報告第3号

日 程 第 5

【 議 決 事 項 】

・議案第1号

岩原委員長

日程第5、議決事項、議案第1号、洞爺湖町招致外国青年任用規則の全部改正について、よろしくお願ひします。

天野課長

6ページになります。議案第1号、洞爺湖町招致外国青年任用規則の全部改正についてです。洞爺湖町招致外国青年任用規則、平成18年教育委員会規則第10号の全部を次のように改正するものです。はじめに、改正の理由ですが、平成24年以前の参加者、招致外国青年がいなくなったことによる、当該記述の削除。2点目が、労働基準法に定めている労働時間の明記。3点目が、セクシャルハラスメントの禁止に係る追加。その他、文言整理ということで、この規則につきましては、一般財団法人自治体国際化協会というところのJETプログラム事業がありまして、任用規則が示されており、全国に職員が派遣されて統一した任用規則ができていますので、その改正に伴う改正と捉えていただければと思います。14ページの新旧対照表をご覧ください。目次ですが、目次に中では第6章は第19条から第25条を第19条から第26条。第7章は26条が27条。第8章は第27条、第28条が第28条、第29条と少し条ずれを起こすものです。第1章総則の中の第1条ですが、見出しの「趣旨」が「目的」、第1条本文の中で1行目ですが、括弧の中、「規則」の後ろに「という。」を加える。「語学指導」は「語学指導等」に改め、3行目、「外国青年」の後に「(以下「参加者」という。)」を加え、「定めるもの」を「定めることを目的」に改正する。次ページの2項ですが、1行目「外国青年」を「参加者」に改め、労働基準法の後ろの括弧を「昭和22年法律第49号」を「(昭和22年法律第49号。以下「労

基法」という。)」に改め、「法令」を「法令等(以下、「労基法と併せて「法令など」という。)」」に改めます。第2条では、「それぞれ」を削除して、第1号中「外国青年 外国語指導助手」を「外国語指導助手 参加者のうち、主として教育委員会、又は小・中学校に配置され、外国語担当教員等の助手として職務に従事する者」に改め、2号「外国語指導助手 中学校で語学指導に従事する又は外国活動の補助等小学校における国際理解教育に従事する外国青年」を「所属長 外国語指導助手が所属する組織の長」に改め、3号、4号は変わりありません。第3条第1項中「外国語指導助手は、」の後ろに「主として」を加え、「教育長」を「所属長」に改め、「の職務」を「に掲げる職務」に改め、1号の「外国語科等授業」を「外国語授業等」に改め、2号「外国語活動等の授業」を「外国語活動等」に改め、3号「小学校及び中学校における国際理解教育」を「外国語教材作成」に改め、4号「外国語教材作成の補助及びスピーチコンテスト等への協力」を「外国語担当教員等に対する現職研修の補助」に改め、5号「外国語科教員等に対する現職研修への補助」を「特別活動や部活動等への協力」に改め、6号「特別活動及び課外活動への協力」を「外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供(言葉の使い方、発音の仕方等)」に改め、7号「町民を対象とした英会話教室の講師(教材作成を含む)」を「外国語スピーチコンテストへの協力」に改め、8号「地方公共団体の行う行事への参加、外国人の応接補助、国際交流事業の企画立案及び実施に対する助言等の国際交流活動」を「地域における国際交流活動への協力」に改め、9号「地域の民間国際交流団体等に対する助言及び協力」を「その他所属長又は校長が必要と認める職務」に改め、10号「その他教育長に指示された職務」を削除するものです。2項は追加です。「2 外国語指導助手は、所属長の指示に従って管下の学校を巡回し、特定の学校に駐在し、又は両者を組み合わせた方法で前項各号の職務を行う。」を追加します。第3章、第4条「外国青年」を「参加者」に改め、「で終わる。」を「までとする。」に改め、最後の「ただし再度の任用したときは、その延長の日までとする。」を削除。第2項中「双方の合意がなされた場合に限り、教育委員会と外国青年は」を「教育委員会は、参加者として必要な能力を有すると実証される場合には、」に改め、第3項中「5年目の外国青年については、第1項の任用期間満了後」を「教育委員会は、引き続く5年間の任用期間が経過した場合においては」、「行わない」を「行わない」に改める。第5条「外国青年」を「参加者」に改め、「、誠実」を「誠実」に改め、「任用期間」を「任用期間の」に改める。第6条中「外国青年」を「参加者」に改め、次の行の「外国青年」を「参加者」に改め、1号中「法令」を「法令など」に改め、3号中「外国青年」を「参加者」に改め、第2項中「外国青年」を「参加者」に改め、次のページ「できない場合は」の次に「、」を加え、「一月分」を「1月分」に改め、「外国青年を解雇」を「参加者を免職」に改める。第4章、第7条中「次の各号の定めるところによる。」を「来日初年度については月額28万円(年額336万円)、

再任用された場合の2年目については月額30万円（年額360万円）、3年目については月額32万5千円（年額390万円）、4年目及び5年目については月額33万円（年額396万円）程度とする。」に改め、第1号及び第2号を削除。第2項「その前」を「その日前」に改め、第3項「前項の場合において、外国青年」を「参加者」に改め、「月の途中」を「月の中途から開始し、又は月の中途」に改め、「終了したときは、」の次に「当該月にかかる」を加え、「当該終了した日までの」を「、その支給対象となる期間の現日数から第10条第2項及び第3項に規定する勤務を要しない日の日数を差し引いた日数を基礎として」に改め、第4項中「日割」を「時間割の」に改め、「同条第1項第1号及び第2号に規定する報酬の年額を260で除して得た額を1日当たりの額とし、時間割の計算に当たっては、同条第1項第1号及び第2号に規定する報酬の年額を1,820」を「報酬の月額に12を乗じ、その額を第10条第1項で規定する1週間当たりの勤務時間に52を乗じたもの」に改める。第8条「外国青年」を「参加者」に改める。第9条「外国青年」を「参加者」に改め、第2項中「、別に定めるところにより」を削除し、第1号中「が見込まれること」を削除し、第2号中「起算して」を削除し、第3項中「教育長」を「所属長」に改め、第9条の2中「外国青年」を「参加者」に改める。第5章、第10条第1項中「外国青年」を「参加者」に改め、「以内」を削る。第2項「外国青年」を「参加者」に改め、第2項最後から2行目「外国青年」を「参加者」に改め、第3項中「教育長」を「所属長」、「外国青年」を「参加者」、「土曜日または日曜日」を「前項以外の時間」にそれぞれ改め、第4項を新たに「4 前項の勤務に当たっては、労基法第32条の規定に基づき、当該週の勤務時間の合計が40時間を超える勤務をさせないものとし、1日については8時間を超えて勤務させないものとする。また、同法第35条第1項の定めにより、毎週少なくとも1日の勤務を要しない日を与えるものとする。」を加え、第4項は第5項になりますが、第4項中「教育長」を第1項「所属長」に「外国青年」を「参加者」にそれぞれ改める。第11条第2号中括弧の中「翌年の」を「翌年」に改め、第2項中「教育長」を「所属長」に改める。第12条見出し「有給休暇」の前に「年次」を加え、本文「外国青年」を「参加者」に改め、本文中「第4条」の次に「第1項」を加え、本文中「有給休暇」の前に「年次」を加え、本文中「この」前に「また、」を加え、「有給休暇」の前に「年次」を加え、第2項「外国青年」を「参加者」に改め、「第4条」の次に「第1項」を加え、「町」を「教育委員会」、「再任用」を「再度任用」、「12日間」を「20日間」にそれぞれ改め、「次の任用期間」の前に「、」を加え、第3項「外国青年は、前項の有給休暇の取得に当たっては、原則として3日前にまでに、3日以上連続した休暇を取得するときは1月前までに、それぞれ教育長に申し出なければならない。」を「所属長は、参加者から請求された時季に年次有給休暇を与えることが、事業の円滑な運営を妨げる場合には、他の時季にこれを与えることができる。」に改め、第4項を削除する。

第13条第2項中「二つの期間」を「2つの期間」に改める。第14条第1項第1号中「が死亡した場合は、」の前に「、祖父母」を加え、第2号「外国青年」を「参加者」に改め、第3号中「住宅が破損」を「住宅が損壊」に改め、第5号中「外国青年」を「参加者」に改め、括弧の中「10週間」を「、14週間」に改め、第6号中「外国青年」を「参加者」に下から3行目「外国青年」を「参加者」にそれぞれ改め、第7号中「外国青年」を「参加者」に改め、第8号中「外国青年」を「参加者」に改め、第9号中「外国青年」を「参加者」に改め、「5日の範囲内の期間」の後ろに「（養育する子が複数の場合にあつては、10日とする。）」を加え、第10号中「その他」の次の「教育長」を「所属長」、「が必要と認める期間」の前の「教育長」を「所属長」にそれぞれ改め、第2項中「第10号」の前に「第9号、」を加え、「第9号」を「第8号」に改め、「無給とする。」の前の「、」を削除する。第15条中「ほか」を「外」、「外国青年」を「参加者」のそれぞれ改め、「次項」の次に「の」を加え、「ついても」を「おいて」、最後から2行目「外国青年」を「参加者」にそれぞれ改め、第2項本文中「期間中」を「期間中の」に改め、1号中「疾病である場合は、」の前に「職務による」を加え、「公務災害報償」を「公務災害補償」に改める。第16条「外国青年」を「参加者」、最後の行「外国青年」を「参加者」にそれぞれ改める。第17条「外国青年」を「参加者」、「伝染病」を「伝染性」にそれぞれ改め、「教育委員会は」の次に「、」を加え、「当該」の次の「外国青年」を「参加者」に改め、第2項中「給料」を「報酬」に改める。第18条中「、予定日数を」を「予定日数を」、「同項第9号」を「同項第10号」、「教育長」を「所属長」にそれぞれ改め、第2項中「第8号」を「第9号」、「教育長」を「所属長」にそれぞれ改め、第3項中「医師の診断書を」、「この場合において、」、「3日以内の休暇を取得する場合であっても、」の次の「教育長」を「所属長」に、「診断書」を「診断書等」にそれぞれ改め、第4項中「休暇」を「休職」、「外国青年」を「参加者」、「教育長」を「所属長」にそれぞれ改める。第6章、第19条「外国青年」を「参加者」に改める。第19条の2の見出し「職務成績の評価」を「勤務成績の評定」に改め、本文中「町」を「教育委員会」、「外国青年」を「参加者」にそれぞれ改める。第20条「外国青年」を「参加者」、「ほか」を「外」にそれぞれ改め、「用いなければならない。」の前に「に」を加える。第21条「外国青年」を「参加者」、「語学指導」を「教育委員会及び語学指導等」にそれぞれ改める。第22条「外国青年」を「参加者」に改める。第23条にセクシャルハラスメントの禁止を追加する。見出し「（セクシャルハラスメントの禁止）」、「第23条 参加者は、性的な言動によって他の職員に不快感を与えたり、就業環境を害してはならない。」を追加する。「第23条」を「第24条」に改め、本文中「外国青年」を「参加者」、「教育長」を「所属長」に改める。「第24条」を「第25条」に改め、本文中「外国青年」を「参加者」に改める。「第25条」を「第26条」にし、見出し「（自動

車運転の制限)」を「(自動車等運転の制限)」に改め、本文中「外国青年」を「参加者」、「事務局」を「が指定する勤務場所」、「教育長」を「所属長」、「学校への」を「その」、「自動車」を「自動車等」にそれぞれ改める。第7章、「第26条」を「第27条」に改め、「教育委員会は、」、「当該」の次の「外国青年」を「参加者」、「懲戒免職、停職、減給または戒告」を「戒告、減給、停職又は懲戒免職」にそれぞれ改め、第1号中「法令」を「法令など」に改め、第3号中「外国青年」を「参加者」に改め、第2項第1号「懲戒免職 予告期間を設けることなく即時に免職する。この場合において、所管の労働基準監督署の認定を受けたときは、労働基準法第20条に規定する手当を支給しない。」を「戒告 書面より当該行為を戒める。」に改め、第2号「停職 7日以内の期間を定めて勤務を禁止するものとし、その間の報酬は支払わない。」を「減給 1回につき平均報酬の1日分の半額を減給し、当該行為を戒める。ただし、1月以内に2回以上減給する場合においても、その総額は1月における報酬の10分の1を上回らないものとする。」に改め、第3号「減給 1回につき平均報酬の1日分の半額を減給し、当該行為を戒める。ただし、1月以内に2回以上減給する場合においても、その総額は1月における報酬の10分の1を上回らないものとする。」を「停職 7日以内の期間を定めて勤務を禁止するものとし、その間の報酬は支払わない。」に改め、第4号「戒告 書面より当該行為を戒める。」を「懲戒免職 予告期間を設けることなく即時に免職する。この場合において、所管の労働基準監督署の認定を受けたときは、労働基準法第20条に規定する手当を支給しない。」に改める。第8章、「第27条」を「第28条」に改め、「外国青年」を「参加者」に改め、「(昭和22年法律第50号)」の次に「又は町村非常勤職員の公務災害補償等に関する条例(平成7年北海道市町村総合事務組合条例第10号)の定めるところ」を加え、「補償を」の次の「行う。」を「受けることができる。」に改める。「第28条」を「第29条」に改め、見出し「(公務外の災害)」を「(公務外の災害補償)」に改め、本文中「損害保険契約」を「海外旅行損害保険契約」、「外国青年」を「参加者」、「職務による」を「公務上の」にそれぞれ改めます。13ページに戻っていただき、附則ですが、「この規則は、平成28年4月1日から施行 する。」ものです。以上です。

岩原委員長

只今、洞爺湖町招致外国青年任用規則の全部改正について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。

« 「ありません」という人あり »

議案第1号、洞爺湖町招致外国青年任用規則の全部改正について承認してよろしいですか。

« 「はい」という人あり »

議案第1号、洞爺湖町招致外国青年任用規則の全部改正について承認することといたします。

・議案第2号

続きまして、議案第2号、洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について、よろしく申し上げます。

天野課長

30ページになります。議案第2号、洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正についてです。洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令を次のように定めるものです。改正の理由ですが、道立学校の自家用車の公用使用に関する要綱の一部が改正され、昨年12月14日から施行されたことに伴い、同様の改正を行うものです。33ページの新旧対照表をご覧ください。第5条中「別記様式第1号に」の後ろに「、運転免許証原本提示の上」を加え、同条第4項中「校長は、届出を受理したときは」の後ろに「、運転免許証原本を確認の上」を加えるもので、免許証を確認しなさいという改正がされました。31ページの様式ですが、変更点ですが、「運転者等」の右側に「運転免許更新」、「新たな有効期限」、「校長確認年月日」が新たに加わった点です。32ページの別記様式第2号につきましては、表の「備考」の横に「運転免許証原本確認」欄が追加されたことと、表の下に注意書きがありますが、「登録に当たり校長は職員から提示される運転免許証原本を確認し、「運転免許証原本確認」欄に押印すること。」を新たに加える改正となっています。30ページに戻ります。附則です。「この訓令は、公布の日から施行する。」ものです。以上です。

岩原委員長

只今、洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。

◀「ありません」という人あり▶

議案第2号、洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について承認してよろしいですか。

◀「はい」という人あり▶

議案第2号、洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について承認することといたします。

・議案第3号

続きまして、議案第3号、洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について、よろしく申し上げます。

天野課長

34ページになります。議案第3号、洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正についてです。洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令を次のように定めるものです。改正の理由ですが、先ほどの洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正と同じ理由となっており、同様に改正するものです。37ページの新旧対照表をご覧ください。第6条中「別記様式第1号に」の後ろに「、運転免許証原本提示の上」を加え、同条第4項中「届出を受理したときは」の後ろに「、運転免許証原本を確認の上」を加えるものです。35ページの様式ですが、変更点ですが、「運転者等」の右側に「運転免許

更新」、「新たな有効期限」、「課長確認年月日」が新たに加わった点です。36ページの別記様式第2号につきましては、表の「備考」の横に「運転免許証原本確認」欄が追加されたことと、表の下に注意書きがありますが、「登録に当たり課長は職員から提示される運転免許証原本を確認し、「運転免許証原本確認」欄に押印すること。」が新たに加える改正となっています。34ページに戻ります。附則です。「この訓令は、公布の日から施行する。」ものです。以上です。

岩原委員長

只今、洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。

◀「ありません」という人あり▶

議案第3号、洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について承認してよろしいですか。

◀「はい」という人あり▶

議案第3号、洞爺湖町教育委員会職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について承認することといたします。

日 程 第 6

【 そ の 他 】

岩原委員長

日程第6、その他について何かありますか。

◀「ありません」という人あり▶

日 程 第 7

【 閉 会 】

岩原委員長

以上をもちまして、平成28年第1回定例会を終了いたします。ご苦労さまでした。

15:00 閉 会